

やなぎばし

大和市立
柳橋小学校
YANAGIBASHI ELEMENTARY SCHOOL



〒242-0022 大和市柳橋1-17-7 046 (263) 4401

URL: <http://www.ed2.city.yamato.kanagawa.jp/s-yana/>

平成30(2018)年 4月27日 -5月号-

慣れる

学校長

- ・ そのポケットに忍ばせた「もの」を活用して授業を盛り上げることができる。(ドラえもののポケットのように・・・)
- ・ 汚れを気にすることなく、子どもと思いきり遊ぶことができる。
- ・ 柄や模様をもとに会話が始まる。
- ・ 安価で丈夫。

担任時代、エプロンを着用して指導にあっていた理由です。今でも、子どもの前に立つときには、エプロンが手放せません。



登校時に正門前に立ったり、教室に学習の様子を見に行ったりし始めて3週間。

エプロンを巡っての会話に変化が見られます。

- **なんで、エプロンしているの？**
当初、この質問ばかりでしたが、今は・・・
- **どうしてそんなに好きなの？**
⇒極めて素直な質問です。
- **エプロン好き先生と呼ぼうかな。**
⇒自分の想いが入ってきました。
- **犬がついているけど、好きなの？私は犬、大好きなんだよ！**
⇒その子なりのアピールも入りました。
- **どうして今日はエプロンしてないの？**
⇒エプロンも市民権を得たようです。
と、言うように。

これは、ほんの小さな子どもとのかかわりですが、各教室では担任が子ども達と、話し合いを繰り返し行ったり、校庭で一緒に遊んだり、学年集会を開いたり・・・。あるいは個別の相談にのったりするなど、その関係構築に懸命です。

子ども達の意欲が高まること、学級や学年の方向性が定まること、一人一人の特徴を学校生活の中で生かすことを願っての動きです。素敵です。

5月。学年だよりや学級通信の文面には「新しいクラスにも慣れてきました」という内容の表現が並びました。

- 『慣れる』という言葉には、
- 経験して当たり前のこととして受け止める。
 - 何度も経験して、できるようになる。習熟する。
 - 接触する機会が増え、距離感がなくなる。
 - なじんで打ち解ける。

という意味があります。教師と子ども達とのかかわり合いによって、『慣れる』が進化し、学級や学年を『共に創る』動きにつながっていくことを期待しています。

家庭訪問が始まります。是非、『共に創る』を支える情報を担任に伝えていただきたいと思っています。

よろしくお願いたします。

